



導入事例 池田町広津 カミツレ研究所「八寿恵荘」
 導入年月 2015年3月

国産カモミールを原料としたスキンケアブランド「華密恋」を製造するカミツレ研究所が運営するビオホテル「八寿恵荘」にチップボイラWTH100を導入しました。ボイラの熱は大浴場の加温と宿の床暖房に使われています。



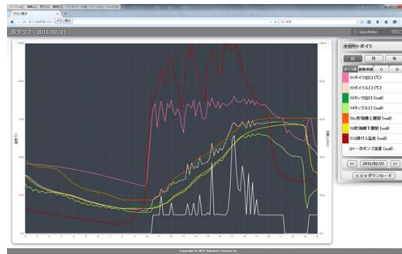
社員の保養所として作られた建物が地域の木材を用いた環境の宿としてリノベされました。



新たに100kWのチップボイラを導入し、既存の灯油ボイラ（290kW）はバックアップボイラとして使っています。



昇温用の小型の灯油ボイラ2台は撤去して、熱交換器に置き換えました。サイロはコンテナ式を採用しました。



メーカー	ハーガスナー（オーストリア）
型式	WTH 100
出力	100kW
燃料	乾燥チップ（水分35%以下）
サイロ	コンテナ式（8m ³ ）
貯湯槽	5トン
遠隔監視	オンサイト（チップ残量通知ほか）
用途	宿泊施設の風呂と床暖房
ボイラ関係 設計・施工	ラブ・フォレスト株式会社 長野市桐原1丁目4-54

チップボイラや貯湯槽は既存のボイラ室に納めました。ボイラの稼働状況や燃料残量の通知のために遠隔監視オンサイトを導入しました。

